

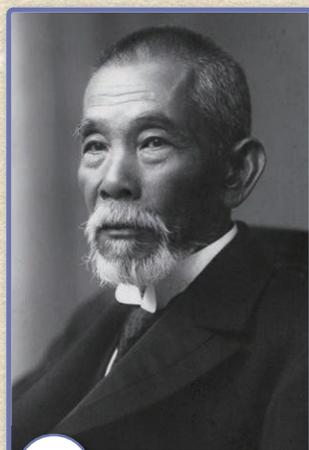
岡山の先人クイズに挑戦してみよう!

岡山県教育委員会では、郷土岡山に対する深い理解と愛情を培い、郷土を愛する心豊かな児童・生徒の育成に取り組んでいます。今回は、岡山に縁のある先人6名をクイズ形式で取り上げました。左の写真A～Fのそれぞれの人物の説明文として正しいものを右の1～6の文章から選んでみましょう。保護者の方はぜひお子さんと一っしょに考えてみてください。さらに詳しく知りたい人は近くの図書館などで調べてみましょう。



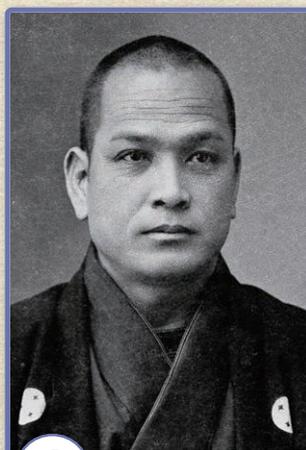
A せっしゅう
雪舟

「雪舟像 模本」岡山県立博物館 所蔵



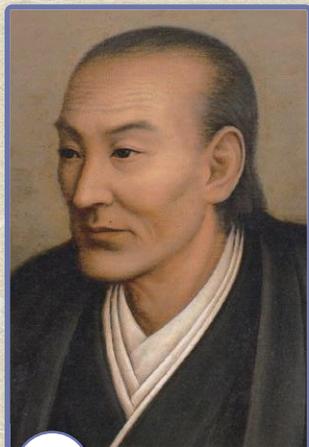
B いぬかい つよし
犬養毅

犬養木堂記念館 所蔵



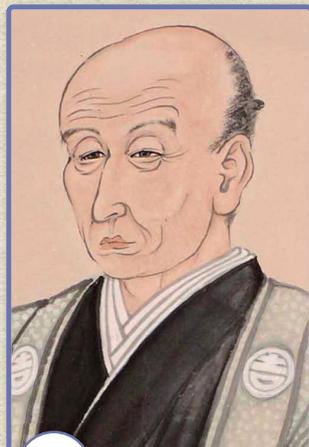
C いしい じゅうじ
石井十次

石井記念友愛社 提供



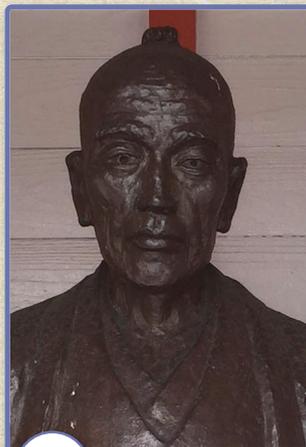
D おがた こうあん
緒方洪庵

大阪大学適塾記念センター 所蔵



E やまだ ほうこく
山田方谷

高梁市歴史美術館寄託／高梁方谷会蔵



F つだ ながただ
津田永忠

沖田神社 提供(容姿は後世の創作)

※写真の無断転載・加工等は御遠慮ください。

1 岡山県初の内閣総理大臣。1855年に現在の岡山市北区川入で生まれました。1890年の第1回衆議院議員選挙以来連続して当選しています。1931年に内閣総理大臣となりますが、翌年5月15日に海軍青年将校により殺害されました(五・一五事件)。

2 室町時代の代表的な画僧。1420年に現在の総社市赤浜で生まれました。1467年に中国へ渡り、帰国後日本の水墨画様式を完成させました。代表作に『山水図』『秋冬山水図』『天橋立図』(いずれも国宝)などがあります。

3 明治から大正期の社会事業家。1865年に宮崎県で生まれ、医師になるため岡山で学んでいました。しかし巡礼途中の母親から子どもを預けられたことを契機に、1887年現在の岡山市中区門田屋敷に「孤児教育会」(のちに岡山孤児院と改称)を創設し、その後も貧困児童の救済と教育に生涯を捧げました。

4 江戸時代前期の岡山藩士。岡山藩主池田光政・綱政に仕え、庶民のための学校である閑谷学校の建設、沖新田などの新田開発、岡山城下を旭川の洪水から守るための百間川の開削など、土木・文化事業を多数手がけました。

5 幕末維新期の儒学者、備中松山藩士。1805年に現在の高梁市中井町西方で生まれました。備中松山藩主板倉勝静に仕え、困窮化した藩の財政改革に手腕を発揮し、多額の借金を返済しました。また、勝静が老中に就任するとその顧問となりました。維新後にもつぱら教育に努め、閑谷学校にも講義に出かけました。

6 江戸時代後期の蘭学者、医師。1810年に現在の岡山市北区足守で生まれました。大坂で蘭方医として開業し、その傍ら蘭学塾の適塾(適々斎塾)を開きました。塾には全国各地から門人が集まり、その中には幕末から明治にかけて活躍した、福沢諭吉・橋本左内・大村益次郎・大鳥圭介などがいます。